



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

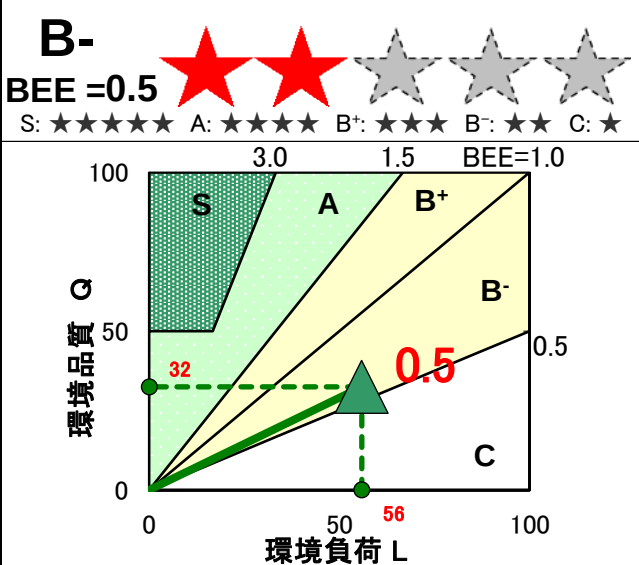
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪自彊館 白雲寮一部移転 計画		
建設地	西成区天下茶屋北2丁目		
建築用途	児童福祉施設等(救護施設)		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,536.89	m ²	
建築面積	791.04	m ²	
延床面積	4,330.07	m ²	
構造/階数	S造	/	地上7階
完了年(予定)	2022年3月		

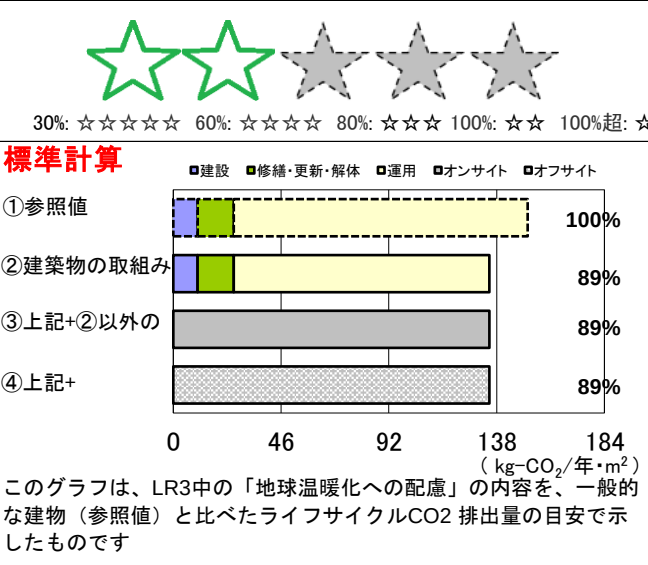
1-2 外観



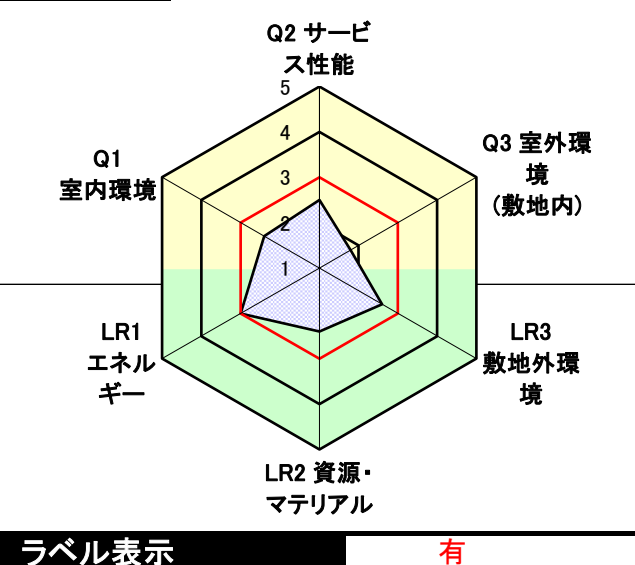
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



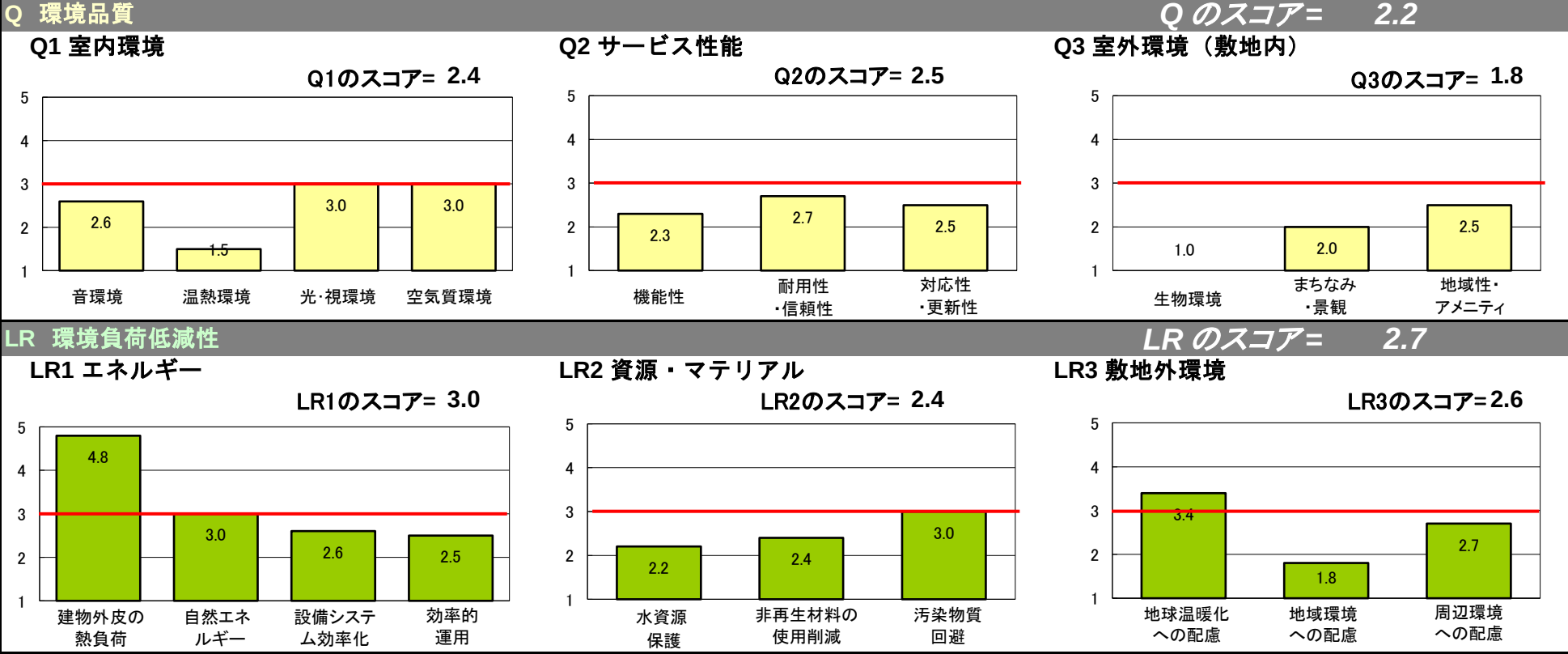
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 特になし。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 内装仕上材・合板類・緩衝材・内装下地材・内部建具及び接着材はシックハウス対策仕様として全てF☆☆☆☆品を用いた。	Q2 サービス性能 居室(個室)の床面積を10㎡以上とし、利用者の快適性向上に留意し計画した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー 省エネルギー法の基準に基づき、高エネルギー効率機器(LED照明)の採用を積極的に行った。	LR2 資源・マテリアル 特になし。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 抑制に努めた。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.4
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		1.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	1.0
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.8
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.6
配慮事項	特になし	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BEI][BEIm]
	- (相当)	0.82
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.87	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.87

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 25 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 15.8 ）㎡方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ）度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 6.3 ）㎡
ウ 設置可能容量	（ 0.9 ）kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☒ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 （ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ）㎡
イ 発電容量	（ ）kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 25 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位 （ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位 （ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位 （ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位 （ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位 （ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
方位 （ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m														
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分															

③ 熱需要の条件等の検討

ア 建築物の用途	児童福祉施設等（救護施設）
イ 熱需要対象用途	☒ 冷房 ☒ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	（ 15.8 ）㎡
エ 概算年間熱利用量	（ 13,715 ）MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
☒ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他（ ）

2 導入する設備の概要

ア 集熱パネル面積	（ ）㎡
イ 概算年間熱利用量	（ ）MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他（ ）

備考